

1 基本項目	事務事業名	国際交流推進事業			担当部署	課名	地域協働課		
	予算事業名	国際交流推進事業				係名	地域協働推進係		
	事業区分	自治事務			電話番号	0765-23-1017			
	事業期間	開始年度	平成5年度	終了年度	当面継続	予会計	一般会計		
	総合計画	目標名	基本目標1 にぎわい、活力あるまち				算科目目	款	総務費
		政策名	5 交流と連携によるにぎわい創出					項	総務管理費
		施策名	10 多様な交流の推進					目	一般管理費
		基本事業名	10-3 国際交流の推進					アウトソーシング導入状況 導入予定なし	
	根拠法令					総合計画等への記載		総合計画に主要事業として記載	

2 事業概要	事業概要	国際交流、国際社会との共生を目指し、国際交流事業を企画し、また、民間団体、市民間で進められる様々な国際交流事業の支援に努める。					
	対象	市民					
	手段 (活動指標)	国際交流事業の企画・実施					
	意図 (成果指標)	外国人との交流が深まる。 国際感覚が豊かになる。					

3 指標	指標名	単位	25年度		26年度			27年度
			計画	実績	計画	実績	達成率	計画
活動指標	① ハロウィン参加人数	人	150	120	150	170	113.3%	150
	② 国際交流推進員事業件数(派遣、紹介、打合せ)	回	15	10	13	6	46.2%	10
	③ 国際交流フェスタ参加人数	人	200	200	150	110	73.3%	100
	① 国際交流推進員として登録する者	人	20	18	18	18	100.0%	18
	②	%	16.0	18.9	18.0	15.7	87.2%	20.0
	③							

4 コスト情報	区分	単位	25年度		26年度			27年度
			予算現額	決算額	予算現額	決算額	決算増減率	当初予算額
支出内訳	① 需用費	円	112,000	94,718	112,000	76,210	-19.5%	47,000
	② 委託料	円	100,000	100,000	100,000	100,000	0.0%	100,000
	③ 工事請負費	円						
	④ 負担金補助及び交付金	円	267,000	266,500	507,000	467,500	75.4%	507,000
	⑤ その他	円	112,000	33,800	112,000	23,760	-29.7%	57,000
支出合計(A)		円	591,000	495,018	831,000	667,470	34.8%	711,000
財源内訳	① 国庫支出金	円						
	② 県支出金	円						
	③ 地方債	円						
	④ その他(使用料、雑入等)	円	30,000	44,599	38,000	62,092	39.2%	14,000
	⑤ 一般財源	円	561,000	450,419	793,000	605,378	34.4%	697,000
収入合計		円	591,000	495,018	831,000	667,470	34.8%	711,000
人件費	① 事務事業に携わる正規職員数	人	2	2	1	1	-50.0%	1
	② 年間所要時間	時間	1,200	1,000	800	800	-20.0%	800
	③ 人件費(②×@ 4,200円)(B)	円	5,040,000	4,200,000	3,360,000	3,360,000	-20.0%	3,360,000
総費用(A+B)		円	5,631,000	4,695,018	4,191,000	4,027,470	-14.2%	4,071,000

5 取組内容	平成26年度に取り組んだ事務事業の内容及び改善内容	
	○「国際交流サロン」の開催(平成24年度より実施) 実施日:平成26年7月11日(金) 講座編 参加者19名 平成27年1月17日(土) 料理編 参加者25名	
	○ALT同士の交流、ALTを含む外国人と市民が交流するため 「リバーサイドバーベキューin片貝山ノ守キャンプ場」を開催 実施日:平成26年8月24日(日) 参加者28名	
	○魚津市近郊に住む外国人と市民の交流を図るため 「国際交流フェスタ」を開催	

6 評価	評価の視点	H25評価	H26評価	評価項目	評価結果	評価の理由		
						2次評価	不要	
妥当性	妥当性	C	A	自治体関与の妥当性	1 妥当である	公共性が高く市による実施が妥当		
				目的の妥当性	1 妥当である			国際交流社会との共生を目指し事業を実施・支援するのは妥当
				対象の妥当性	1 妥当である			外国人との交流が深まり、市民全体の国際感覚が豊かになるので妥当
有効性	有効性	B	B	目標達成度	2 目標どおり	70%以上100%以下なので目標通り		
				類似事業の有無	1 なし	類似事業は他にない		
				上位施策への貢献度	2 普通	貢献しているが、普通		
効率性	効率性	B	B	コスト効率	1 高い	最小限のコストでやっている		
				実施主体の適正化	2 改善の余地あり	市民や民間と協働することにより改善することができる		
				負担割合の適正化	1 適正である	市の負担割合は適正		
1次評価(課長総括)		B	B	事業の進め方・内容について改善の余地あり	2次評価	不要		
後の方針)	評価結果及び今後	時代に合った国際交流の支援を検討していく必要がある。				評価結果		